

「あいサポート運動」



鳥取県

「地域の理解」が不可欠

障がいがあっても、地域の一員として、いきいきと暮らしていくためには、「地域の理解」が必要。

しかし、「地域の理解」はまだまだ。

・・・さまざまな声が寄せられている・・・

(あいサポート運動のきっかけ)

「点字ブロックの上に自転車などがあると視覚障がいのある方が歩けない」

「聴覚障がいのある方は駅で電車が遅れているという放送が聞こえない」

「てんかんについて、周囲から正しい理解が得られず、悩んでいる方がたくさんいる。」

「交通事故後に仕事がつまみできない社員を雇い側が高次脳機能障がいを知らないために怒ってしまう」

「知的障がいのある方が被害者になりやすく、加害者と間違われることもある」

“あいサポート運動”とは？

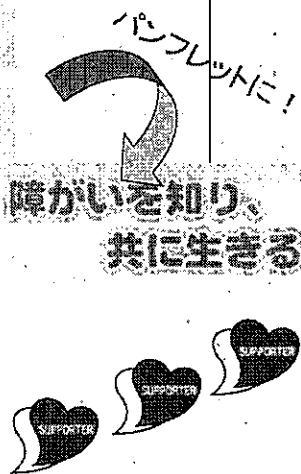
皆さんに、

- ①障がいの内容・特性、
- ②障がいのある方が困っていること、
- ③配慮の仕方や

ちょっとした手助けの方法など
を知っていただき、

実践していただく運動。

(21年11月スタート)



まず、知ることからはじめましょう

様々な障がいを説明（12団体の御協力）

視覚障がい

聴覚・言語障がい

肢体不自由

内部障がい

重症心身障がい

知的障がい

自閉症・発達障がい

精神障がい

てんかん

高次脳機能障がい

依存症

県視覚障害者福祉協会

県ろうあ団体連合会

県身体障害者福祉協会

県肢体不自由児・者父母の会

重症心身障害児(者)を守る会県支部

県手をつなぐ育成会

県自閉症協会

県精神障害者家族会連合会

てんかん協会県支部

県高次脳機能障害者家族会

県断酒会

鳥取ダルク

さらに「あいサポート企業・団体」制度

「あいサポート運動」推進のため、
従業員を対象とした「あいサポーター」研修等に取り組む企業等を
「あいサポート企業・団体」として認定

※ 研修では簡単な手話研修を含む。

従業員に対し「あいサポーター研修」を実施



各企業・団体により、あいサポート運動の一環として、ボランティア等への参加や車いすのための寄付運動など、新たな動き。

広がる「あいサポーター」の輪

あいサポーター 8ヶ月で**19,047人** (22年8月1日現在)

あいサポート企業・団体の認定数

⇒ 8ヶ月で**42企業・団体** (22年8月20日現在)

これまでの認定業種

銀行、書店、スーパー、生命保険業、コンビニエンスストア、
バス・タクシー、食品製造・販売、電子部品等製造・販売、
IT関連企業、スポーツジム、警備業、医療法人、社会福祉法人、
大学、ホテル、建設業等 **県外の団体からも申請!**

あいサポーター研修回数 8ヶ月で**105回**
(22年8月1日現在)

対象者

地域住民、企業、団体、民生委員、教員等